

まちさんぽ

地域の町会・自治会の活動やまちのようすをご紹介します。情報をお寄せください。

南府中自治会 (是政圏域)

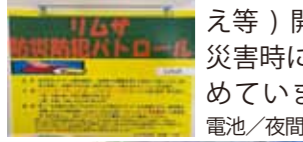


私たちは生活環境を改善・維持することを目的に活動しています。特に多摩川の浸水災害に対応した早期避難と自宅の備蓄、停電対策を進めています。また、生活情報や災害情報などの情報伝達手段のひとつとしてスマートフォンの活用を進めています。photo: 夜間防災訓練風景

リムザ自治会 (是政圏域)



是政にある 553 世帯のマンションです。安全安心で楽しく暮らせる様に防災備品(ポータブル電源等)を導入。また新しい生活様式を取り入れたイベント(チューリップ球根植え等)開催しコロナ禍でも発生する災害時に協力し合える関係構築に努めています。photo: ソーラーパネル&蓄電池/夜間パトロールの案内



西府町5丁目自治会 (西府圏域)



【西府町農業公園】JR 西府駅から国史跡武蔵府中熊野神社古墳脇の交差点を西に300m行くと4丁目の西府町農業公園に着く。先日、公園で府中市産業振興課主催の防災訓練が行われた。訓練ポイントは真冬の厳しい季節に行うことにより施設のもつ機能や食料備蓄としての役割、又避難場所として雨風をしのぎ保温効果のあるビニールハウスの居住性を体感した。畑には食料用の若干のネギも!西府町の新しい防災拠点のひとつとして緊急時の安心安全施設である。JR 南武線・西府駅・歩12分/京王バス・西府橋・歩1分

photo: ビニールハウス(上)・ハウスボイラー・災害時トイレ・井戸

「防災とまちづくり」

ラジオフューズ 87.4MHz 土曜 10:30~11:50 (水曜日 13:30~再放送) 筒井副会長(中央右) 林田安全対策部長(中央左)



府中市コミュニティFMラジオの番組「防災とまちづくりの時間」で発信しています。「死なない為の災害対策」を中心に家庭での備え等を分かりやすく楽しくご紹介。行政の担当者や専門家、一般のゲストの方と一緒に番組作りをしています。

パンフレット各種事務局にご用意しています。また、ホームページからもダウンロードください。



自治会活動ハンドブック 町会に入ろうパンフレット

府中市自治会連合会には、府中市内の町会・自治会・管理組合が、いつからでも加入できます。

年会費は(1世帯20円×世帯数)です。機材の貸出し(参照p1)や防災研修会、バス見学会等にご参加いただけます。助成金情報や町の困り事もお気軽にご相談ください。お問合せはお電話メールで(平日10時~15時)

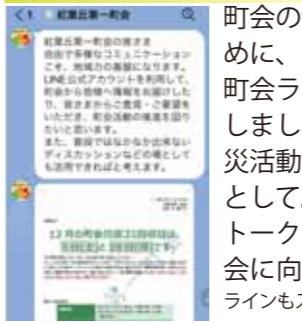
自治連ニュース no.27 (令和4年2月1日発行) 発行:府中市自治会連合会 〒183-0055 府中市府中町2-25 府中市振興会館 電話&FAX: 042-319-9396 Email: info@fuchu-jichiren.net Homepage: https://www.fuchu-jichiren.net/



↑自治連 HP



紅葉丘自治会 (紅葉丘圏域)



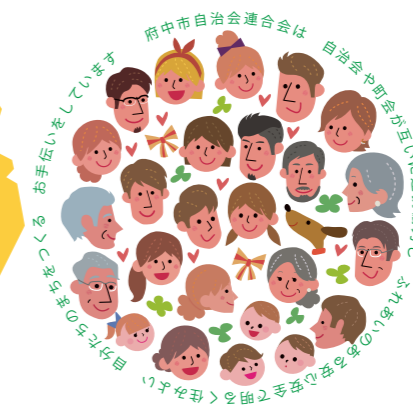
町会の新しい繋がりを展開するために、ブログ・Twitter等に加え、町会ライン公式アカウントを開設しました。情報共有のみならず防災活動やコミュニケーションの場として。「ザ・ごきんじょ」というトークルームは将来のデジタル町会に向けての準備です。photo: 町会ラインもスタート/デジタル難民を作らない!

分梅町連合自治会 (住吉・片町圏域)



1646世帯、9自治会からなる分梅町自治連は自主防災訓練、夏祭り、盆踊り等の活動を行っています。6年前に長期防災計画を立て今年累計1千万円相当の防災機器を備えることが出来ました。機器の分散・集中管理方式で災害に迅速に対応できる体制になりました。photo: 防災訓練の様子

自治連ニュース No.27



[INDEX] p1 機材シェアについて 新年のご挨拶 p2 【報告】秋のバス見学会 オンライン防災研修会 自治会長と市長との懇談会 p3 東京都災害活動拠点電源 確保事業案内・事例ほか p4 まちさんぽ① 自治連提供ラジオ番組 自治連のご案内 ほか

「機材シェア」でまちを楽しく!

自治連が保有する各種機材を会員の皆さまに無料で貸出しています*。町会・自治会の活動で、使いごちを体感してください。実際に購入したい場合には補助金制度(例えば東京都・地域の底力支援事業)をご紹介します。申請のお手伝いをしています。

- アイパッド10台: まち歩き(QRコードで町探検)、撮影会など
■パソコン: オンラインで井戸端会・連絡会
■プロジェクターとスクリーン&スピーカー: 野外上映会
■発電機と投光器: B B Q親睦会・防災訓練など
■新しい形の防災訓練: (例) 発電機で発電した電気をその場で蓄電器に移し替えて使ってみる。電気ポットや電子レンジ、ホットカーペットを使ってみる等
■蓄電池を自転車に積んで出かけよう!
防災グッズは、ふだん使いからスタートしよう!



防災訓練の様子



ポータブル蓄電池 POWER VALUE SAVER カセット発電機 HONDA ENEPO

★貸出・返却日等はご相談下さい。(自治連加入町会は無料/*パソコンのみ500円/1台) ★自治連加入ご希望の町会さんも、ぜひご相談ください!

Table with 2 columns: 機材名 (Equipment Name) and 用途/消耗品(実費) (Usage/Consumables (Actual Cost)). Rows include items like ノートパソコン, タブレット, プロジェクター, etc.

ご挨拶 新年あけましておめでとうございます。令和4年新春を迎え、本年も良き年でありますようお慶び申し上げます。日頃より府中市自治会連合会の運営にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、丸2年にわたる新型コロナウイルスによる世界人類に与えた脅威も癒えず、ワクチンの出現により、少しずつ希望がもてる兆しが見えてきましたが、昨年より変異株の出現により再び拡大が懸念されております。

自治会連合会でも少しでも地域の活動が維持できるようにと会員の皆様と力を合わせ、工夫を重ねている所です。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和4年1月吉日 府中市自治会連合会 会長 志水清隆



左から 梶田事務局次長・筒井副会長・高野市長・志水会長・谷本事務局次長・林田部長

秋の見学会

報告

スマートエネルギーWeek



9月29日(水)

会場には430社が出展し、太陽光発電展、二次電源展、バイオマス展、水素燃料電池展、風力発電展等を地域からの参加者33名で研修した。又、脱炭素経営EXPO展も併設展示されており、日頃目にすることができない最新技術や装置・機器を一堂に見学会できとても充実した見学会だった。



市民協働まつりに出展参加しました

11月、第7回府中市民協働まつりが開催されました。参加は120団体。自治連からはオンラインで「自治連紹介」と「防災訓練ビデオ動画」、また「トークショー」と「ブース出展」は会場での参加となりました。特にオンラインでの「動画」は参加団体中第2位の上位閲覧記録でした。



オンライン防災研修会 12月5日(日)

【首都直下地震への地域の備え】と題し『オンライン防災研修会』を開催しました。参加者は約70名。発災時の共助や要支援者名簿の活用、そして平常時における地域での取組等について、小野修平氏(ジョージ防災研究所代表)に講演頂きました。なお、事務局の場所からのオンライン講座は初めてで、自治連役員たちがみんなで挑戦しました。一歩ずつではありますが、デジタルスキルもステップアップしています。



今年の見学会。大國魂神社近くから出発し、東京ビッグサイト(青海展示棟)の展示会に参加しました。スマートエネルギー展(9月)、防災危機管理展(10月)、国際福祉機器展(11月)。毎回お楽しみのお弁当も好評でした。コロナ禍のなか出かけることが格段に減り、貴重な交流の機会となりました。会場では厳重な感染予防体制が行われており、そのなかで今の最新情報や新しい機材の使い方や、家庭や地域社会への取り組みの可能性など、多くを学ぶことができました。

RISON 危機管理産業展2021

10月21日(木)



東京臨海広域防災公園『そなエリア東京』で防災体験ツアーに参加した後、危機管理産業展へ。防災減災そして感染症対策等のブースや講演会で防災力をアップした研修会だった。

国際福祉機器展

11月10日(水)



ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボットまで国内外から約180社の出展を見学した。既に介護の現場で活躍する機具も多いとの話等、展示会ならではの情報を多く得られた。

自治会長と市長との懇談会 10月29日(金)

「第52回自治会長と市長との懇談会」を開催しました。自治会・町会と府中市が直接に話し合う場として、リアルで情報交換が出来る有効な取り組みです。事前に質問や意見を府中市に渡し、対策など回答を受ける他、当日、具体的な課題や意見を進言し、「どの様な対処ができるか」を市長や各部長から受ける事ができます。令和3年はコロナ禍でもあり、自治連・自治会(48名)、市長・行政幹部(12名)の出席でした。



市長との懇談

ご存知ですか？ 東京都地域コミュニティ 災害活動拠点 電源確保事業

東京都では、令和2~4年度の3年間、電源確保対策として**1組織当たり60万円の助成(購入費用の1/2)**をし、**停電対策の支援事業を実施しています(府中市からは、発電機エネポ5万円の助成)。**令和4年度まで実施しますので是非挑戦してください。**自治会連合会では町会規模の大小に関わらず申請のお手伝いをしています。**

【東京都からのご案内】災害発生時に被害を最小限に抑えるためには、自分たちのまちは自分たちで守るという「共助」の担い手である、町会・自治会を中心とした自主防災組織が果たす役割が重要です。素早い避難や情報の収集、救援の要請、避難所の運営など、災害時のあらゆる場面で自主防災組織の活躍が期待されています。

最近の災害では、大規模・長期の停電が発生し、情報連絡ができずに応急対策の支障となったり、多くの方がスマートフォンによる情報収集などができない事態が生じました。

そこで東京都では、停電時においても、地域コミュニティの防災活動に支障を生じさせないように、また身近な地域で充電が可能となるように、自主防災組織等の活動拠点における電源確保を支援していきます。お住まいの区市町村を通じてお申込みください。

【内容】自主防災組織などの地域コミュニティが行う、**非常用発電機等の購入費用を助成**します。自主防災組織のほか、防災活動を行うマンション管理組合などの組織で使用する、可搬式の非常用発電機、電池、充電器(ケーブル等付属品を含む)を購入した費用の1/2を、都が区市町村を通じて助成します。(1組織当たり60万円を限度)

【活動の事例：分梅町連合会の防災体制について】

去る2月6日に分梅町連合会で防災訓練を行いました。

分梅町自治連は分梅の9町会1646世帯で構成され、例年は大規模な防災訓練ですが、今年は縮小しての開催となりました。

私たちは、非常時に機材を使いこなせるように、日頃から分散配備し、地域の方々に随時活用してもらっています。

また長期計画に基づき定期的な防災訓練を行っています。

【府中市自治会連合会の支援】

「東京都地域コミュニティ災害活動拠点電源確保事業」助成により

発電機、蓄電池、投光器などを追加購入する支援をしていただきました。これまでも、分梅町連合会では数年かけて府中市自治会連合会の支援のもと、発電機10台、蓄電池4台、投光器12台、その他AEDやエアジャッキ等90台の防災機器を購入し、災害に備えてきました。今回の電源確保助成金のほか「東京都地域の底力発展事業助成金」を含め、助成金情報に目を光らせ、積極的に活用しています。



防災訓練のちらし



令和3年の防災訓練

報告 感謝状をいただきました

○府中消防署より**トランシーバー整備事業**に対して感謝状を頂きました。トランシーバーは災害時、最後の情報伝達手段として自治連が整備している事業です。

○府中視覚障害者福祉協会の会員の方々より「**音響式信号機の誘導音時間を午前6時~午後10時まで延長**」の承諾推進に対して感謝状を頂きました。

地域の困り事ご相談ください



「たまら・び悠」多摩らいふ倶楽部の情報誌に自治連の活動が紹介されました。

【自治連 役員会・常任理事会 報告】

役員会：毎月1回/常任理事会：隔月1回
2月以降未定

【その他の活動】

7月 新任自治会長研修会/トランシーバー取扱練習会

【地域市民の集い】

5月 是政/9月 住吉/10月 四谷/12月 新町/2月 武蔵台(中止) ※各会の議事録はホームページに掲載。

【都町連理事会】

◎東京都生活文化局や他市の自治会連合会理事の方々との情報の交換を行っています。

◎東京都の助成金やその他の情報をいち早く確実に知り、みなさまに伝えることができています。

◎「東京都地域の底力発展事業助成」をはじめ「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業助成」、「東京都地域コミュニティ防災活動拠点電源確保事業補助金」のお声がけを会員の方々に行い、申請する会員町会・自治会のお手伝いをしています。